CADIZ RACE　報告

2005 年 10 月 15 日

㈶日本ｾｰﾘﾝｸﾞ連盟ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ特別委員会委員
日本ｳｲﾝﾄﾞｻｰﾌｨﾝ連盟強化委員長
前地達郎

1）日程　　2005 年 9 月 28 日～10 月 5 日

2）調査大会　　2005　ＲＳ：Ｘ　CADIZ RACE（9 月 30 日～10 月 2 日）

3）大会概略

北京ｵﾘﾝﾋﾟｯｸｾｰﾘﾝｸﾞ種目　ｳｲﾝﾄﾞｻｰﾌｨﾝ部門の艇種がﾐｽﾄﾗﾙｸﾗｽからＲＳ：Ｘｸﾗｽに変わり、そのﾎﾞｰﾄﾞなどの供給が遅れているなか、ﾖｰﾛｯﾊﾟ地区で始めてのﾚｰｽが行われ、各国のｵﾘﾝﾋﾟｯｸﾁｰﾑが参加するとの情報でこの大会の視察と、各国の状況の調査を行った。

a)参加国数　男子 21 カ国　74 名　　女子 15 カ国 32 名

b)選手構成　・ｱｼﾞｱからの参加はなかったが、ﾖｰﾛｯﾊﾟ、南米などそのほとんどがﾐｽﾄﾗﾙｸﾗｽの選手がそのまま移行している。

・Fw ｸﾗｽの選手が少数ではあるが、参加していた。

結果　男子優勝 Nicolas HUGUET.（FRA）（2005 ﾐｽﾄﾗﾙｸﾗｽ世界選手権優勝）

女子優勝 Faustine MERRET（FRA（ｱﾃﾈｵﾘﾝﾋﾟｯｸﾐｽﾄﾗﾙｸﾗｽ金メダル）

c)各国の RS:X 入手状況

・ﾌﾗﾝｽ 30 艇　ｵﾗﾝﾀﾞ 20 艇　ｱﾒﾘｶ 20 艇

・ﾄﾞｲﾂ 10 艇　ｲﾀﾘｱ 12 艇　ｷﾞﾘｼｬ 12 艇　ﾄﾙｺ 12 艇　ｽﾍﾟｲﾝ 12 艇

ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ 10 艇 ﾌﾞﾗｼﾞﾙ 10 艇　ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ 10 艇

ﾌﾗﾝｽが突出して多く供給されており、ﾆｰﾙﾌﾟﾗｲﾄﾞ社とのつながりと考えられる。

※参考　日本は 10 月 7 日現在で 10 艇（内 4 艇が 10 月 7 日配布）

4)ＲＳ：Ｘﾐｰﾃｨﾝｸﾞ

大会中ＲＳ：Ｘﾐｰﾃｨﾝｸﾞが開かれ ISAF ｳｲﾝﾄﾞｻｰﾌｨﾝｺﾐｯﾃｨｰから RS:X ｸﾗｽとしての方向性が、11 月のｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙで開かれる ISAF ｶｳﾝｼﾙで決定されるとの発表があるにとどまった。

その中には

- 2006 年ﾜｰﾙﾄﾞの開催場所、時期、の決定（現在ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ、ﾀｲ、韓国などが立候補）
- ﾜｰﾙﾄﾞへ出場するための予選制度
- RS:X ｸﾗｽ協会の設立（2006 年 1 月発足予定）　等

※　ﾐｽﾄﾗﾙｸﾗｽの時はｸﾗｽ協会が力を持っていたため、世界の各国ｸﾗｽ協会の民主的意見で、ﾜｰﾙﾄﾞなどの開催場所等が決まったが、RS:X ｸﾗｽは、すべてにおいて、ISAF が主導権をもってｸﾗｽ管理をして行くように感じられた。

RS:X ｸﾗｽｺﾐｯﾃｨｰ	ﾁｪｱﾏﾝ	Rich Jeffries	ISAF WSF ｺﾐｯﾃｨｰ（ｱﾒﾘｶ）
	ﾊﾞｲｽﾁｪｱﾏﾝ	Fiona Barron	ISAF 副会長 WSF ｺﾐｯﾃｨｰ（ｲｷﾞﾘｽ）
	委員	Aaron Botzer	ISAF WSF ｺﾐｯﾃｨｰ（ｲｽﾗｴﾙ）
	委員	Mike Gebhart	（ｱﾒﾘｶ）
	委員	Ailsa Angus	(ﾆｰﾙﾌﾟﾗｲﾄﾞｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙﾏﾈｰｼﾞｬｰ)

5) ＲＳ：X　技術的内容

ﾚｰｽ方法　　基本的にはﾐｽﾄﾗﾙｸﾗｽと同形式。男子 2 ｸﾞﾙｰﾌﾟに分け、ｺﾞｰﾙﾄﾞ、ｼﾙﾊﾞｰでの決勝方式

ﾚｰｽｺｰｽ　　ﾄﾗﾍﾟｿﾞｲﾄﾞｺｰｽに加え、M 字ｺｰｽを検討。 1 ﾚｰｽのﾀｰｹﾞｯﾄﾀｲﾑは 20 分~30 分

風速条件　　6 ﾉｯﾄ～30 ノットはﾐｽﾄﾗﾙと変わらず、しかしｾｰﾙが大きくなったため強風は誰もが非常に辛いと答えていた。日本人にとっては体格の問題もあり課題だが、 軽風では逆にﾁｬﾝｽあり。

計測　　今回はﾎﾞｰﾄﾞ重量の計測と、ｾｰﾙのｽﾀﾝﾋﾟﾝｸﾞのみ

技術的問題　ﾐｽﾄﾗﾙと違い、10~12 ﾉｯﾄ以上では上りのﾚｸﾞで、ﾀﾞｶﾞｰを使わずに走るが、そのﾀｲﾐﾝｸﾞと、ﾀｯｷﾝｸﾞｱﾝｸﾞﾙの違いで、各選手まだ戸惑っており、いろいろﾄﾗｲしている段階。ﾌﾘｰは軽風時にﾃﾞｯﾄﾞﾗﾝでﾊﾟﾝﾋﾟﾝｸﾞを行っているのが特徴。
風速によるﾚｲﾗｲﾝの見定めがﾚｰｽのｷｰﾎﾟｲﾝﾄ。

ﾁｭｰﾆﾝｸﾞ　　ﾀﾞｳﾝﾎｰﾙｶﾆﾝｶﾞﾑをﾐｽﾄﾗﾙをさらに進化させた形で各選手はつけており、ﾚｰｽ中にﾁｭｰﾆﾝｸﾞできるようにしている。ﾁｭｰﾆﾝｸﾞｸﾘﾆｯｸ（VTR あり）で、詳しい説明があった

今回のﾚｰｽ　　風速 6 ﾉｯﾄ～12 ﾉｯﾄですべてのﾚｰｽが行われた。16 ﾉｯﾄ以上ではﾀﾞｶﾞｰ操作はなくなるため、この風域でのﾃｸﾆｯｸが各選手最も課題としている。

ＶＴＲ　　現地で Mike Gebhart による、ﾁｭｰﾆﾝｸﾞｸﾘﾆｯｸ（1.2 時間）
ﾚｰｽ模様　第 1 ﾚｰｽ～第 5 ﾚｰｽのｽﾀｰﾄ～ﾌﾘｰまでの模様（1.5 時間）

6) 日本の課題

- RS:X の情報が少ないため海外の選手やｺｰﾁとｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを密にし、また積極的に海外に出るなどして、技術的課題を克服する必要がある。
- 青島の状況で日本選手が上位に入るﾁｬﾝｽを明確にし、日本選手の優位性を生かすよう具体的なﾄﾚｰﾆﾝｸﾞを早急におこなう必要がある。
- ﾐｽﾄﾗﾙ以上に体力的なﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽが必要であるため、JISS などの専門機関と協力してその対応をしてゆきたい。

7)今後の RS:X ｸﾗｽの 大会予定　（2006 ｱｼﾞｱ大会、ISAF ｹﾞｰﾑは除く）

Date	Event	Place
26 – 30 October 2005	Hong Kong Open	Hong Kong
31 October – 3 November 2005	Shenzhen Open	Shenzhen, China
27 – 30 October 2005	WindBrasil – International RS:X and Formula Event	Fortaleza, Brazil
9 – 14 January 2006	Sail Melbourne	Melbourne, Australia
22 – 27 January 2006	Rolex Miami OCR	Biscayne Bay, Miami USA
27 – 30 January 2006	New Zealand National RS:X Championships	Takapuna, New Zealand
4 – 7 February 2006	Sail Auckland	Auckland, New Zealand
February 2006	Brazilian RS:X Championships (open to foreign sailors)	Buzios, Brazil
23 February – 1 March 2006	Andalusian Olympic Sailing Week	Cadiz
31 March – 4 April 2006	Barcelona Olympic Sailing Week	Barcelona

March 2006	Calema Midwinters	Florida, USA
22 – 30 April 2006	Hyere	Hyere, France
24 – 28 May 2006	Holland Regatta	The Netherlands
10 – 20 May 2006	ISAF World Sailing Games	Lake Neusiedl, Austria
June 2006	Kiel Week	Kiel, Germany

2006 RS:X ﾜｰﾙﾄﾞ、ﾖｰﾛﾋﾟｱﾝは 11 月の ISAF ｶｳﾝｼﾙで決定予定

（ﾖｰﾛﾋﾟｱﾝはｲﾀﾘｱ ｼﾁﾘｱがISAF ｹﾞｰﾑ（5/10~20）の前で検討中）

8）参考　CADIZ RACE 結果

Top Ten Men´s Results

Pos	Nation	Last name	R1	R2	R3	R4	R5	Pts
1	FRA	Nicolas HUGUET	1	3	1	2	(6)	7
2	NED	Joeri VAN DIJK	3	2	2	1	(5)	8
3	FRA	Nicolas LE GAL	4	1	2	4	(15)	11
4	POL	Max WOJCIK	2	3	1	(19)	6	12
5	GBR	Nick DEMPSEY	1	(10)	7	5	2	15
6	FRA	Julien BONTEMPS	13	(OCS)	4	2	1	20
7	GBR	Leo MCCALLIN	6	11	4	4	(13)	25
8	FRA	Samuel LAUNAY	4	7	(26)	7	7	25
9	ITA	Federico ESPOSITO	3	4	13	6	(18)	26
10	POL	Piotr MYSZKA	7	(27)	5	10	4	26

Top Ten Women´s Results

Pos	Nation	Last name	R1	R2	R3	R4	Pts
1	FRA	Faustine MERRET	3	3	4	8	18
2	ESP	Blanca MANCHON	2	11	1	9	23
3	GBR	Bryony SHAW	7	1	9	6	23
4	ITA	Flavia TARTAGLINI	1	6	14	3	24
5	BUL	Irina KONSTANTINOVA	5	10	5	4	24
6	FRA	Anne-Sophie LE PAGE	8	14	8	2	32
7	ISR	Lee KORSITS	12	7	12	10	41
8	UKR	Olga MASLIVETS	4	4	19	15	42
9	POL	Zofia KLEPACKA	9	5	17	12	43
10	ITA	Laura LINARES	19	16	15	1	51

※ 添付

VTR3.5 時間

ﾁｭｰﾆﾝｸﾞｸﾘﾆｯｸ、ﾚｰｽ模様、計測など